



子どもは未来を担う宝です。

それは家族にとってはもちろん、地域社会にとっても言えることです。

少子高齢化など子どもを取り巻く環境の変化の中、子どもの成長の基盤は家庭ですが、地域や社会とさまざまに関わりながら成長していきます。

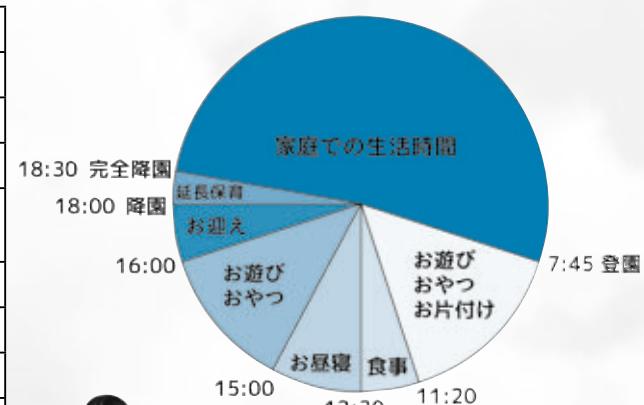


子どもたちを取り巻く環境が変化してきています。

【保育園の一日の流れ】

(この一日の流れは一例です。各保育園や組によって、多少違いますのでご留意ください)

時 間	主な活動	
7:45～9:00	登 園	朝の健康観察
		身の回りの片づけ
9:00～11:20	おやつ 遊 び	おやつを食べる
		保育活動 (年間の月案による)
11:20～12:30	食 事	手洗い、トイレ等
		食事の準備
		食事をする
		食事の後片付け
		パジャマに着替える
12:30～15:00	お昼寝	絵本を読んでもらう
		ゆっくり眠る
		目覚め 身の回りの整理
15:00～16:00	おやつ 遊 ぶ	おやつを食べる
		保育士や友達と遊ぶ
		降園開始
		挨拶をして帰る
16:00～18:00	保育終了	
18:00～18:30	延長保育	



日々、成長していく
子どもたち。試行錯誤の毎日ですが、楽しく保育にあたっています。

今年度から、みた保育園で保育士として働いている中谷彩さん

特集 西ノ島町の保育園

「健やかな子どもたちの成長を願って」



近年、少子高齢化が進むなかで、共働き世帯の増加や核家族化など、その変化の中における、保育園の役割や状況をご紹介します。

【保育園の役割】

保育園は、保護者の就労あるいは病気などの事情で日中家庭での保育ができない乳幼児を、保護者に代わって保育する施設です。家庭に代わって子どもたちが生活する場ですから、十分に養護が行き届き、くつろいだ雰囲気の中で過ごせる環境を作ることが大切です。このような環境の中で、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけ、子どもの様々な要求を適切に満たしながら、情緒の安定を図っていきます。また、「遊ぶ」「食べる」「眠る」という生活の基本的な行動を集団でする中から、お互いに譲りあうことや、友達を思いやる事などを学んでいきます。

保護者の方とは、送迎時の対話や連絡帳、園便りなどを通して、子どもたちの様子を伝え、話し合いながら連携を密にし、ともに子どもたちの成長を見守っていきます。

【入園児数・保育士数の状況】

本町には、公立の「みた保育園」と私立の「シオン保育園」の2施設があります。

生後43日から就学前の乳幼児が受入対象となっており、年齢別の組み分けにより保育をしています。

以下は、平成26年5月31日現在の園児数と保育士数です。

*みた保育園

保育士数 6名

組	年齢	人 数
さくら	5歳児	9人
もも	4歳児	4人
うめ	3歳児	8人
つばみ	2歳児	6人
つばみ	1歳児	5人
つばみ	0歳児	2人
合計		34人

*シオン保育園

保育士数 6名

組	年齢	人 数
ほし	5歳児	8人
つき	4歳児	7人
はな	3歳児	10人
うさぎ	2歳児	6人
つばみ	1歳児	6人
つばみ	0歳児	5人
合計		42人

年度の途中において入園児が増えていく可能性があります。共働き世帯の増加や、核家族化などの傾向の中で、日中の保育を必要とする家庭の為に、安定的な保育環境を維持していくことが重要です。